

## 《インドネシアのメガ・ヒット小説》

# 作者アンドレア・ヒラタが語る 『虹の少年たち』の世界

講演者：**アンドレア・ヒラタ**氏（小説家）

インドネシアのベストセラー小説『虹の少年たち』の原作者アンドレア・ヒラタ氏をお招きし、作品の豊かな世界を語っていただきます。これは、作品の訳者お二人をお招きした昨年の講演会に続いて、インドネシア文学の今を伝える講演の第二弾となります。

本講演では、『虹の少年たち』の舞台となった1970年代のプリトゥン島での著者の経験、作品に込められた貧困と教育についての著者のメッセージ、さらには、現在のインドネシアにおける小説のもつ意義などを語っていただきます。通訳を介して聴衆からの質問にも答えていただく予定です。

田舎の村の小学校の子どもたちの成長と先生との交流を描いた『虹の少年たち』は2005年に出版され、500万部というベストセラーとなりました。2008年には映画化され、これも大ヒットを記録。日本語訳は福武慎太郎氏と本学卒業生加藤ひろあき氏の共訳で2013年にサンマーク出版から出版されました。

日時：11月10日（月）16:00–17:30

場所：東京外国語大学4階 422教室 総合文化研究所

講演言語：インドネシア語（通訳あり）

問い合わせ：青山亨研究室 [taoyama@tufs.ac.jp](mailto:taoyama@tufs.ac.jp)

